

地域公共政策コース

岡山大学大学院
社会文化科学研究科

毎日の仕事でこんなことを考えていませんか？

- ・町の商店街は、寂れるばかり！ なんとかならないだろうか？
- ・地方財政は厳しいと言うけど、本当にそうなんだろうか？ そうだとすると、どうしてそうなってしまったのだろうか？
なんとかできないか。
- ・合併したけど、我が町はそれで良かったのかなあ
- ・環境に優しい都市ってどんな都市？ 自分の住んでいる町はどうなんだろう。個人の努力と自治体の対策はどうなっているの？
- ・ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスを調べてみたいけど、どうやったらいいの？
- ・農工商連携や地域ブランドって、地域活性化にどれくらい貢献しているのだろうか？

そんな疑問を研究テーマとして考えてみませんか？

毎日の仕事でこんなことを考えていませんか？

- ・最近、住民税が高い気がするけど、行政はそれに見合ったサービスをしてくれているのだろうか？
- ・まちづくり条例って、どうやって作るの？
- ・道州制が必要といわれるけど、私たちの生活への影響はあるの？
- ・羽田空港のハブ化で、地方も活性化するはずって東京の人は知っているけど本当？ そもそもハブ化ってなに？
- ・地方自治のあり方や制度を勉強したいのだけど、どうやったらいいの？
- ・買い物難民は重要な問題、地域福祉の政策を考えてみたい。
- ・ゼロ金利政策っていわれているけど、地域の金融と私たちの生活の関係はどうなっているのだろうか？

そんな疑問を研究テーマとして考えてみませんか？

研究をするには、次の3つが必要です。

- ① 問題意識
- ② 分析の道具
- ③ 時間

- ① 具体的に何を解決したいかという問題意識が必要です。それに至った動機や体験でも十分。漠然とどうしたいかという落としどころがあれば、もっと良いでしょう。そして、それに至るプロセスを考えましょう。
- ② 現地調査やアンケートをしてみたいけど、どうやってそれを分析するの？ 費用対効果に問題とか波及効果が高いか新聞にあるけど、どうやって計算しているの？ 具体的な政策を作り上げる法務の作業はどうするの？ 大丈夫です。それを習得するカリキュラムが**地域公共政策コース**にあります。
- ③ 昼間は仕事があるけど。大丈夫です。開講時間の基本は、午後6時から9時10分までの夜間授業、土曜日もやっています。

こんなこともやっています

- ① 院生と教員のワークショップ
- ② 地域連携アゴラでの勉強会、研究会
- ③ 地域連携アゴラでの講演会、意見交換会

- ① 毎月1回、大学院生の研究報告を中心に、院生と関係教員の全員参加で、議論を尽くします。これを何回か経験することで、研究テーマが研究論文になっていきます。
- ② 地域公共政策では院生、修了生、関係教員に加えて、まちづくり、NPO、行政、医療・福祉など様々な分野で活躍する地域の人々と一緒に、勉強会や意見交換会を3ヶ月に1回程度やっています。いろいろな人の意見が聞けて、まさに異業種交流の場となっています。
- ③ 各分野のエキスパートを地域内外から招いて、テーマ別の講演会をやっています。講演会終了後には、出席者と講演者の間で時間をとった討論会が行われます。聞きっぱなしではない、自分の疑問を解決できます。

皆さんの参加をお待ちしています

- ① 議員の皆さん、日々の地域の課題を地域公共政策コースで問題解決を探りませんか？ そして、研究成果を議会で提案してみましょう。
- ② 自治体職員の皆さん、仕事で感じている問題意識を地域公共政策コースで理論をつけ、実証をし、政策へ活かしてみませんか。政策法務の講義もあります。
- ③ まちで活動する皆さん、経済学や法学から地域公共政策の基礎的な理論を学んで、実践の理論武装をしましょう。そして、院生や教員と一緒に、現場に行ってヒアリング調査のやりかたを勉強しましょう。今年は、西粟倉村と智頭町へ1泊2日で学部学生と一緒に行ってエンジョイしました。